

（ 映像で奈良を元気にする「奈良フィルムコミッション」 ）

昨年12月から今年3月まで奈良を舞台にしたテレビドラマ「鹿男あをによし」（万城目学の小説。「鹿の運び番」に選ばれた主人公の高校教諭が、災いを封じる三角縁神獣鏡を守ろうと奮闘する）が放映され、ロケ地となった黒塚古墳や若草山へ観光客が訪れるなど、今、奈良が注目を集めている。そのドラマ撮影のサポートをしたのが「NPO法人奈良フィルムコミッション」（理事長村奈嘉 正美）。

同フィルムコミッションはロケの誘致、ロケ地探し、エキストラの手配、宿泊施設・食事提供など撮影が円滑に進むように縁の下の仕事をしている非営利の団体。奈良の素晴らしさを世界に伝え、たくさんの人に奈良を知ってもらいたいと、平成13年10月に設立された。

今までに篠田正浩監督「スパイ・ゾルゲ」（表現社）、NHKドラマ「大化改新」、「華岡青洲の妻」、「ダイヤモンドの恋」、テレビ朝日ドラマ「新京都迷宮案内」など様々な撮影の支援をしてきた。

今回のロケでは、主人公小川孝信（玉木宏）が東京から奈良へ赴任する途中、京都駅に降り立つシーンの撮影が12月のある早朝6時から始まった。脚本が秋の設定なので、ボランティアのエキストラ90人は秋の装いで寒くて大変だった。また、近鉄奈良駅では、監督から当初エキストラ20人を用意して欲しいと言われたのに、撮影に入ると30人追加を頼むと言われるなど、ハプニングがたくさんあった。

村奈嘉理事長は「監督のイメージに合った撮影場所を探すことも大事な仕事で、カメラ写りの良い場所を提供するには、何箇所か用意しないといけない。また、補助やエキストラといっても、いい作品を作る気持ちは監督・俳優と同じ。地元のことは詳しいので、プロに頼りにされるのは、やりがいを感じる。このドラマでは、東大寺周辺、

春日大社・飛火野周辺、平城宮跡（朱雀門）、明日香、天理（黒塚古墳）などがテレビに映り、奈良の魅力を感じてもらえたと思っている。これを機に多くの人が奈良を訪問してくれることを楽しみにしている」と話していた。（上田）



「鹿男あをによし」東大寺参道での撮影風景



「鹿男あをによし」近鉄奈良駅のエキストラ達

（写真提供：奈良フィルムコミッション）

これからの主な催し

〔主な行事〕

● 5月25日（日）午前10時～午後4時

自由市場 かげろう座2008

江戸時代の町並みとして知られる五條市・新町通りはかつて宿場町として大変栄え、賑わった。

新町通りの町屋の軒先を借りて、手作り産品を中心とした品物の展示・販売（フリーマ

ケット）を催すとともに、大道芸・古典芸能等が演じられ、古き良き文化の再発見となり、参加者や出店者との交流交歓が図られる。

場所：五條市 新町通り・エビス通り・商励会通り

交通：JR 五條駅から徒歩約15分